

- 1 日 時 令和7年3月23日(日曜日) 9:00~11:40
- 2 活動場所 トラスト14号地全域、E地区(町有地)
- 3 集合場所 役場運動グラウンド東(緑地公園前)
- 4 活動目的 明るく安全な景観林に
- 5 活動内容 植樹活動、落ち葉掃き
- 6 作業レベル 中級
- 7 担当世話役 原
- 8 道 具 ヘルメット、手袋、マスク、運搬用台車、麻縄、支柱、熊手、ブルーシート、救急箱
- 9 荒天対応 急な雨、又は強風のときは、中止とします
- 10 トイレ着替 芝生公園又は弓道場トイレ

タイムスケジュール

- 8:30 受付
8:50 世話役・関係者打ち合わせ
9:00 集合
9:05 開会、出欠確認、作業説明ほか
ストレッチ
9:15 作業開始(適宜休憩)
11:30 作業終了・用具確認
11:40 閉会・解散

作業内容

①コナラ・クヌギの苗木の植樹活動

- ・トラスト14号地内の指定の場所に苗木の植樹を行います。植樹位置は事前に刈込隊で選定してあります。
- ・苗木が入る大きさまで穴を掘り、バケツ等で水をあげてから、苗木の根が完全に埋まるまで植え、土をかぶせます。
- ・苗木の周りに土を盛り上げて水受けを作ってから再度水をあげてください。
- ・添え支柱を立てて、麻縄で苗木と結んで作業完了です。

②しいたけのほだぎの作成

- ・トラスト地で発生した枝を原木として、シイタケほだぎの作成をします。
- ・ほだぎの作成の仕方は、別紙の「シイタケほだぎの作成」を参考にしてください。
- ・しいたけ菌を打ち込んだ後、仮伏せを行います。仮伏せは梅雨前まで行い、その後は本伏せとなります。
- ・本伏せ後、おおよそ2回夏を経過した後から、しいたけが発生することと予測しています。その間は、直射日光の当たらない、適度に雨が当たり、風通しの良い場所に立てかけ発生を待ちます。

キノコのお話～意外と知らない!?キノコの種類～

活動している間に、木の根元や積み置いた丸太にキノコが生えているのを見たことがあると思います。皆さんが活動しているトラスト14号地にもたくさんキノコが生えていますが、日本にはいったいどれだけのキノコの種類があるかご存じですか？
実は日本には4,000～5,000種類のキノコがあると言われていて、でも驚くのはここからで、食用キノコはそのうち約100種類ほどしかありません。一方、毒キノコは約300種類以上あると言われており、毒キノコであるかどうかは専門家でも見分けるのが難しいそうです。

山林でキノコを見つけても、持ち帰って食べることはかなりのリスクがあります。知らないキノコは触らない・食べない・人にあげない。十分に気を付けて活動しましょう！

キノコの栽培は日本が世界初？

現在、スーパーなどで購入できるキノコ類のほとんどが、人工栽培で育てられているものです。キノコ栽培の歴史は古く、江戸時代まで遡ります。当時は、栽培方法が確立しておらず、山で自然に生えたものだけなので、高級品でした。初期の収穫の方法としては、樹木の枝や幹に傷をつけて、キノコが生えてくるのを祈るばかり、、、といった運任せの方法でした。諸説ありますが、現在の分県(豊後の国)の炭焼きをしていた源兵衛が人工栽培を始めたことが、世界初だと言われています。

キノコの栽培の方法には、大きく二つあり、原木に種駒(菌駒)をほだ木に打ち込み、栽培する原木栽培と、おが粉とキノコ菌を混ぜて固めた、菌床を利用し栽培する菌床栽培があります。この二つの栽培方法が確立し、安定したキノコ栽培ができるようになったとされています。

次回活動予定

- 日 時 令和7年4月20日(日)
午前9時～正午頃まで
集合場所 緑地公園前
内 容 林内整備および総会